

様式第7号

事業報告書

<p>団体名</p>	<p>合同会社nagomi</p>
<p>事業名</p>	<p>子どもたちに向けた木育体験の場づくり@南エリアー市産材を使った造形活動ー</p>
<p>事業内容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)</p>	<p>イベント概要の企画（6月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 茶エンナーレ美術プロジェクトとの共催によるイベント活性化の調整 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 単なる木工教室だけでなく、アートプロジェクトとの連携により、子供の創作意欲を創出する企画を検討 <div data-bbox="730 869 1197 1518" style="text-align: center;"> </div> <p>地域を跨いだ関係者とイベント企画・チラシ制作（7月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 九州でアートプロジェクト経験のあるフリーランスとのイベント企画ディスカッション ● 上記フリーランスがデザイナーだったため、チラシの制作を委託



子供たちへのアプローチ（7月）

- 掛川市の全小学校へのチラシ配布
- 掛川市公式LINEでの告知
- 弊社SNSでの告知

椅子づくりワークショップの実施

- 実施日：8/17（土）
- ※実施時の写真は別紙に掲載

市民への発信

- 広報誌での発信
- 弊社SNSでの発信



<p style="text-align: center;">事業成果</p> <p>(事業計画に記載した目的、成果目標及び波及効果に対する達成度等)</p>	<p>イベント参加者数：24組（48名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 当初目標及び応募者数20組 ● 情報開示後数時間で満杯となり、非常に市民へのニーズのある企画を立てることができた <p>参加者満足度：100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子供満足度＝5段階中TOP2満足度100%（すごく楽しかった＋楽しかった） ● 大人満足度＝5段階中TOP2満足度100%（大変満足＋満足） <p>主な親御さんの声：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「自由に失敗しながらやらせてくれた。大工さんの技が身近で見られて良かったです」 ● 「孫が夢中になっていたのが何より嬉しかった。また参加したいです」 ● 「子の自主性を育むことができ、親子で協力できた」 ● 「普段できない経験をさせてあげられました」 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 椅子作りWSの参加者を共催した茶エンナーレイベントに多数送客することができた。地域イベントにおける親和性のあるイベントが共催することによる相乗効果を実感することができた。 ● 主催者自身は、本業として東京の会社に勤務しながら、イベントに向けてオンライン会議等で関係者との調整を進めイベントを実施できた。地域を飛び出したものが地元活性化のイベントを地域にいる皆さんと実施するというチャレンジを行うことができたことを嬉しく思う。
<p style="text-align: center;">事業期間</p>	<p style="text-align: center;">2024年 7月 2日 ～ 2024年 9月 30日</p>
<p style="text-align: center;">今後の事業展望</p> <p>(反省点・改善点、短期及び中長期のビジョン、継続性・財源確保等)</p>	<p>反省点・今後に向けた改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 価格設定を当初予定の1,000円として実施したが、継続性の観点からは、もう少し価格を高くする必要があると感じた。 ● 特に夏休みシーズンということで、小学生へのニーズが非常にあることが分かったため、効率的に開催回数を増やす工夫などを行いたい。

	<p>今後のビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 価格設定について <ul style="list-style-type: none"> ➢ 申し込みが非常に多かったこと・満足度が高かったことを考慮すると、今後は価格設定の見直しを検討した上で、実施したい。(アンケートでも価格設定について調査しており、2500円～3000円程度の設定は可能と想定) ● 開催方式について <ul style="list-style-type: none"> ➢ 今回、単体イベントではなく、茶エンナーレ美術PJTとの共催により、椅子づくりWSに集客したユーザーを、美術PJTに送客することができた。 ➢ 木工教室単体では収益性の観点から、事業継続が難しいことから、他アートイベント等との共催を模索することで、事業継続性を検討したい。
--	---

<別紙：イベント実施模様>



旧城東保育園の教室に満員で開催された親子椅子作り WS



親子で力を合わせてトンカチを打つ様子



おじいちゃんと来ている子供も



大工さんから打ち方のコツを教えてもらう男子



真剣な表情でペンキを塗る女の子



教室前のフリースペースでペンキを配る様子



一人一人違う個性豊かな椅子が作られました



一緒に来た小さい子も楽しめるよう、輪投げを用意



会場となった旧城東保育園



夏のアートまつりを共催した皆さんと